

雌阿寒岳の火山防災

雌阿寒岳は活火山です。硫黄の煙霧が吹き出る蒸気孔や池がある印象的な地形、深い火口が織りなす、山頂から眺める壮大な景色は、登山の経験を特にやりがいのあるものにしてくれます。しかし、このような山を登るときには、その危険性に警戒することは極めて重要です。

雌阿寒岳で起きた最後の大きな噴火は 1955 年です。2008 年、小さな噴火が起きた際に関係機関は、山頂へ繋がる 3 本の登山道を封鎖し、その後の 2009 年に再度開かれました。火山は今も活発で、定期的にガスが発生しています。地元の関係機関は、近い将来また噴火すると考えており、特殊な機器を設置しています。ハイキング中には黒いコードが山道を通っているのに気づくかもしれません。これは道中にあるサイレンと監視機器に電気を供給するための電源ケーブルです。

火山は噴火する可能性とその危険性のレベルによって、5 を最高レベルとして 1 から 5 まで連続的に評価され、ランク付けされています。このレベルによって、入山が規制されてることもあります。登山に出発する前に現在の警戒レベルを確認しておくようにしましょう。阿寒湖半エコミュージアムセンターのインフォメーションボードも情報は掲示されており、随時更新されています。気象庁のウェブサイトでも確認することもできます。
(https://www.jma.go.jp/en/volcano/map_1.html)

レベル 1 の時は雌阿寒岳の山頂や火口まで登頂することができます。レベル 2 になると 3 つあるコースそれぞれの 7 合目からのルートが規制されます。それ以上のレベルでは、全ての登山道が閉鎖されます。

雌阿寒岳に登頂する際には安全に留意することが必須です。また、火口から放出された硫黄煙は吐き気をもよおす可能性があるため、吸い込まないよう注意しましょう。